



## 2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月11日

上場会社名 株式会社 ショクブン  
 コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 朋春

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 宮原 利彦

TEL 052-773-1011

定時株主総会開催予定日 2022年6月27日 配当支払開始予定日

2022年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	6,875	0.5	254	10.7	252	29.9	221	14.2
2021年3月期	6,839	2.8	230	37.7	194	16.9	194	115.3

(注) 包括利益 2022年3月期 199百万円 (16.4%) 2021年3月期 238百万円 (163.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	14.37		9.2	4.3	3.7
2021年3月期	19.32		13.8	3.6	3.4

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 百万円 2021年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	5,839	2,510	43.0	162.61
2021年3月期	5,859	2,311	39.4	149.72

(参考) 自己資本 2022年3月期 2,510百万円 2021年3月期 2,311百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	174	19	230	2,064
2021年3月期	388	619	530	2,101

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期		0.00		5.00	5.00	77	34.8	3.2
2023年3月期(予想)		2.50		2.50	5.00		32.2	

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,457	4.2	91	13.9	91	24.8	80	70.5	5.18
通期	7,318	6.4	263	3.5	263	4.4	239	8.0	15.52

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	17,691,669 株	2021年3月期	17,691,669 株
期末自己株式数	2022年3月期	2,253,428 株	2021年3月期	2,253,230 株
期中平均株式数	2022年3月期	15,438,335 株	2021年3月期	10,052,335 株

(参考)個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	6,857	0.4	236	10.5	256	32.7	232	24.6
2021年3月期	6,827	2.8	214	41.6	193	1.9	186	33.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	15.07	
2021年3月期	18.58	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	5,772	2,451	42.5	158.80
2021年3月期	5,748	2,218	38.6	143.73

(参考) 自己資本 2022年3月期 2,451百万円 2021年3月期 2,218百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,448	4.2	82	15.7	98	15.4	86	47.7	5.63
通期	7,300	6.5	245	3.6	262	2.4	240	3.2	15.55

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	14
(1) 貸借対照表 .....	14
(2) 損益計算書 .....	16
(3) 株主資本等変動計算書 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動への制限が断続的に続く状況の中、ワクチン接種が進み、経済社会活動正常化に向けた動きはみられるものの、エネルギー及び原材料価格の上昇、急激な円安に加え、ロシア・ウクライナ情勢が世界経済に与える影響等により不透明な状況が続きました。

当社グループが属する食品宅配業界におきましては、外出自粛化の巣ごもり消費による需要増加の効果が薄れる中、エネルギー及び原材料価格、物流コストの上昇、円安によるインフレ懸念など、これらによる景気の下振れリスク、個人可処分所得や雇用悪化リスク等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下でありましたが、当社グループは、新たなお客様を獲得するため約11年ぶりとなる泉大津営業所の開設、通常価格の約半額でご利用頂ける1食290円お試しキャンペーンの展開、酒類・チルド商品（カットフルーツ・寿司）等の新たな商品の導入、全国を対象とした通信販売サイトの開設など、積極的に販路拡大の仕組みを構築してまいりました。また、まもなく販売開始を予定している「金の〇〇」「銀の〇〇」シリーズをはじめとした、自社PB商品の開発にも注力いたしました。

マーケティング戦略においては、テレビCMやリスティング広告、SNSでの発信を強化いたしました。新たな取り組みとしましては、テレビショッピングを地元地方テレビ局にて放映するなど、当社の認知度は更にアップしております。

人手不足対策として、賃金のベースアップにより従業員の定着化を図ると共に、配送面では物流企業3社との配送委託契約を締結することで、人手不足を補完する仕組みを構築し、また、外国人特定技能生を積極的に採用するなど、人員の確保に努めてまいりました。

資本政策においては、当社は株主様への利益還元を経営の最重要課題と位置づけていることから、2022年2月25日に臨時株主総会を開催し、利益剰余金の繰越損失を減資により解消させ、適切な税制の適用を通じて財務内容の健全性を向上させること及び復配できる体制といたしました。今後は、長期的かつ安定的な配当が出来るよう取り組んでまいります。

以上のような施策により、当連結会計年度の業績は、売上が68億75百万円（前年度比100.5%）、経常利益は2億52百万円（前年度比129.9%）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億21百万円（前年度比114.2%）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産

資産の部では、借入金の返済により現金及び預金が36百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ19百万円減少の58億39百万円になりました。

#### ② 負債

負債の部では、リース債務が37百万円増加しましたが、長期借入金が1億45百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ2億18百万円減少の33億29百万円になりました。

#### ③ 純資産

純資産の部では、親会社株主に帰属する当期純利益2億21百万円を計上したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億98百万円増加の25億10百万円になりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、20億64百万円になりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、増加した資金は1億74百万円（前連結会計年度は3億88百万円の増加）になりました。これは、税金等調整前当期純利益2億53百万円、減価償却費99百万円等を計上しましたが、退職給付に係る資産の減少34百万円、法人税等の支払額37百万円を計上したことによるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、増加した資金は19百万円（前連結会計年度は6億19百万円の増加）になりました。これは、有形固定資産の取得による支出36百万円等がありましたが、有形固定資産の売却による収入60百万円等により資金が増加したことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、減少した資金は2億30百万円（前連結会計年度は5億30百万円の増加）になりました。これは、主に長期借入金の返済による支出1億45百万円、リース債務の返済による支出67百万円によるものであります。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率（%）	10.2	39.4	43.0
時価ベースの自己資本比率（%）	54.7	77.2	59.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（倍）	22.8	7.1	15.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	6.3	19.9	10.9

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値によっており、以下の算式で算定しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。
3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを使用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
5. 2019年3月期におけるキャッシュ・フロー対有利子負債比率（倍）及びインタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）は営業キャッシュ・フローがマイナスのため、省略しております。

#### (4) 今後の見通し

2023年3月期は、新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、ウクライナ情勢などの地政学的リスクの影響とそれに伴う物価高、原油価格の高騰や各国の金利政策を受けた為替の影響など、先行きは不透明な状況です。

このような経営環境の変化が激しい中、当社グループは社会のインフラとしての役割を果たすべく、また、神明グループのラストワンマイルを担う企業として、お客様のニーズにあった、安全・安心で美味しい食材を追求してまいります。今後も、食品宅配業界の市場規模は拡大していくものと予想されますが、同業他社とのアライアンス、自社PB商品強化、関西地区への事業拡大等、第2、第3の柱となるような新規事業にも積極的に取り組んでまいります。

2023年3月期に行う主な取り組みの一つとして同業他社とのアライアンスを強化いたします。先般、株式会社サンクック（静岡県浜松市）と特約店契約を締結し、これにより、シヨクブンのメニューサービスを静岡県西部地域でも提供することが可能となります。また、従来より提携関係にあったMIKAWAYA 21株式会社との協働で、同社の運営するシニア向け生活サポートサービスの一環として、当社の商品を47拠点に提供を開始いたします。

二つ目は自社PB商品の商品開発、販路拡大です。当社はこれまではメニューブックに掲載されているメイン食材を中心に自社で製造しておりましたが、メニューブックのみの販売に捉われず、全国EC販売やB to B事業でも販売できる「金の〇〇」「銀の〇〇」等、魅力ある商品開発に取り組んでまいります。

三つ目は関西地区への事業拡大です。現在、関西地区は7つの営業所を有しております。関西地区はマーケットも非常に大きく、また、神明グループとのシナジー効果を発揮しやすい環境であるため、新規出店や関西地区での新たなTVコマーシャルの放映など、積極的に認知度向上、事業拡大に取り組んでまいります。

なお、慢性的な人手不足と人材流出防止のための賃金の上昇、並びに原材料費やエネルギー価格の高騰が現実的なものとなってきたことから、4月より主力商品の価格を約2.5%~5.0%の値上げを実施しております。

これらの状況を勘案したうえで、翌連結会計年度（2023年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高73億18百万円（前期比6.4%増）、営業利益2億63百万円（前期比3.5%増）、経常利益2億63百万円（前期比4.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2億39百万円（前期比8.0%増）を見込んでおります。

また、当社は今後も地域社会への貢献に積極的に取り組んでまいります。当社は5月6日、南知多町、地元でオーガニック農業を展開している農業生産法人、株式会社オーガニックファーム知多などとの協働で、オーガニック農業の推進を図る目的の連携協定を締結いたしました。オーガニック農業の普及と発展に貢献することで、地産地消の推進や、食料自給率の向上にも微力ながら尽力してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,101,482	2,064,757
売掛金	77,114	89,160
原材料及び貯蔵品	87,164	95,643
その他	23,730	42,139
貸倒引当金	△109	△55
流動資産合計	2,289,382	2,291,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,814,938	1,819,913
減価償却累計額	△1,324,891	△1,349,435
建物及び構築物(純額)	490,047	470,477
機械装置及び運搬具	32,873	33,052
減価償却累計額	△30,457	△27,338
機械装置及び運搬具(純額)	2,416	5,714
工具、器具及び備品	193,858	205,341
減価償却累計額	△181,782	△186,885
工具、器具及び備品(純額)	12,076	18,455
土地	2,395,417	2,338,231
リース資産	288,297	384,325
減価償却累計額	△75,674	△124,617
リース資産(純額)	212,622	259,707
有形固定資産合計	3,112,580	3,092,586
無形固定資産	39,505	42,291
投資その他の資産		
投資有価証券	7,504	7,504
退職給付に係る資産	311,503	314,379
繰延税金資産	7,182	1,196
その他	92,096	90,240
投資その他の資産合計	418,286	413,320
固定資産合計	3,570,372	3,548,198
資産合計	5,859,755	5,839,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	286,060	298,324
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	145,392	145,392
リース債務	59,524	63,405
未払法人税等	43,828	9,011
未払消費税等	64,546	27,089
賞与引当金	36,000	47,000
ポイント引当金	14,449	—
契約負債	—	9,960
その他	293,608	234,123
流動負債合計	2,193,411	2,084,306
固定負債		
長期借入金	1,101,944	956,552
リース債務	200,196	234,252
繰延税金負債	28,369	24,684
資産除去債務	23,736	28,886
その他	628	700
固定負債合計	1,354,874	1,245,075
負債合計	3,548,285	3,329,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,935,735	100,000
資本剰余金	2,275,866	3,230,181
利益剰余金	△831,027	272,292
自己株式	△1,111,275	△1,111,327
株主資本合計	2,269,298	2,491,147
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	42,171	19,316
その他の包括利益累計額合計	42,171	19,316
純資産合計	2,311,470	2,510,463
負債純資産合計	5,859,755	5,839,845

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	6,839,024	6,875,566
売上原価	4,092,405	4,147,445
売上総利益	2,746,619	2,728,120
販売費及び一般管理費	2,516,447	2,473,263
営業利益	230,171	254,857
営業外収益		
受取利息	29	26
受取手数料	31,975	18,541
その他	3,522	4,503
営業外収益合計	35,526	23,072
営業外費用		
支払利息	19,284	16,328
株式交付費	41,589	—
支払手数料	7,451	8,203
その他	2,771	608
営業外費用合計	71,096	25,140
経常利益	194,602	252,788
特別利益		
固定資産売却益	3,819	1,057
特別利益合計	3,819	1,057
特別損失		
減損損失	17,975	—
固定資産売却損	10,007	—
ゴルフ会員権評価損	17,547	—
特別損失合計	45,530	—
税金等調整前当期純利益	152,891	253,846
法人税、住民税及び事業税	28,584	21,202
法人税等調整額	△69,924	10,743
法人税等合計	△41,340	31,946
当期純利益	194,231	221,900
親会社株主に帰属する当期純利益	194,231	221,900

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	194,231	221,900
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	43,945	△22,855
その他の包括利益合計	43,945	△22,855
包括利益	238,176	199,045
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	238,176	199,045

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,148,010	1,488,141	△1,025,259	△1,111,231	499,661	△1,773	△1,773	497,887
当期変動額								
新株の発行	787,725	787,725			1,575,450			1,575,450
親会社株主に帰属する当期純利益			194,231		194,231			194,231
自己株式の取得				△44	△44			△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						43,945	43,945	43,945
当期変動額合計	787,725	787,725	194,231	△44	1,769,637	43,945	43,945	1,813,582
当期末残高	1,935,735	2,275,866	△831,027	△1,111,275	2,269,298	42,171	42,171	2,311,470

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,935,735	2,275,866	△831,027	△1,111,275	2,269,298	42,171	42,171	2,311,470
当期変動額								
減資	△1,835,735	1,835,735			—			—
欠損填補		△881,419	881,419		—			—
親会社株主に帰属する当期純利益			221,900		221,900			221,900
自己株式の取得				△52	△52			△52
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△22,855	△22,855	△22,855
当期変動額合計	△1,835,735	954,315	1,103,320	△52	221,848	△22,855	△22,855	198,993
当期末残高	100,000	3,230,181	272,292	△1,111,327	2,491,147	19,316	19,316	2,510,463

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	152,891	253,846
減価償却費	95,351	99,748
減損損失	17,975	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,349	11,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△897	△54
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△13,340	△34,173
受取利息及び受取配当金	△29	△26
支払利息	19,284	16,328
株式交付費	41,589	—
ゴルフ会員権評価損	17,547	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	6,188	△1,057
売上債権の増減額 (△は増加)	△34,614	△12,046
棚卸資産の増減額 (△は増加)	8,058	△8,479
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,696	12,263
未払金の増減額 (△は減少)	4,986	△17,232
前受金の増減額 (△は減少)	△17,366	△20,676
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	3,537	—
契約負債の増減額 (△は減少)	—	△4,489
未払消費税等の増減額 (△は減少)	67,313	△27,854
その他	25,727	△38,675
小計	423,249	228,421
利息及び配当金の受取額	30	26
利息の支払額	△19,523	△16,059
法人税等の支払額	△15,598	△37,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	388,157	174,399
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	30,071	39
有形固定資産の取得による支出	△45,336	△36,549
有形固定資産の売却による収入	642,945	60,596
無形固定資産の取得による支出	△7,867	△6,343
差入保証金の回収による収入	6,447	4,886
その他	△7,146	△3,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	619,114	19,476

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,275,030	—
長期借入れによる収入	1,300,000	—
長期借入金の返済による支出	△962,467	△145,392
リース債務の返済による支出	△82,230	△67,694
自己株式の取得による支出	△44	△52
株式の発行による収入	1,550,346	—
株式の発行による支出	—	△17,422
財務活動によるキャッシュ・フロー	530,574	△230,561
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,537,845	△36,685
現金及び現金同等物の期首残高	563,597	2,101,443
現金及び現金同等物の期末残高	2,101,443	2,064,757

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、当社グループはポイント制度を導入しており、従来は、将来のポイントの使用を見込まれる金額を費用として引当金にて計上する方法によっておりましたが、当該ポイントが重要な権利を顧客に提供する場合、履行義務として識別し、収益の計上を繰り延べる方法へ変更しております。

また、従来、販売費及び一般管理費として計上していた一部の費用について、当連結会計年度より顧客に支払われる対価として、売上高から減額しております。

この結果、当連結会計年度の売上高が減少しておりますが、影響額は軽微であります。営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

これによる当連結会計年度の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「ポイント引当金」は、当連結会計年度より「契約負債」に含めて表示することとしました。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取り扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	149.72円	162.61円
1株当たり当期純利益	19.32円	14.37円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	194,231	221,900
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	194,231	221,900
普通株式の期中平均株式数 (株)	10,052,335	15,438,335

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	2,311,470	2,510,463
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	2,311,470	2,510,463
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	15,438,439	15,438,241

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## (販売の状況)

商品別	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額 千円	前年度比 %	金額 千円	前年度比 %
メニュー商品	6,222,770	103.0	6,267,661	100.7
特売商品	616,254	100.2	607,905	98.6
計	6,839,024	102.8	6,875,566	100.5

## (開示の省略)

上記以外の注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,015,617	1,984,408
売掛金	75,930	88,073
原材料及び貯蔵品	83,579	92,510
前払費用	19,698	19,946
その他	1,462	22,540
貸倒引当金	△109	△55
流動資産合計	2,196,179	2,207,422
固定資産		
有形固定資産		
建物	472,069	453,286
構築物	17,877	17,105
機械及び装置	413	4,598
車両運搬具	2,002	1,116
工具、器具及び備品	11,877	18,336
土地	2,395,417	2,338,231
リース資産	212,622	259,707
有形固定資産合計	3,112,280	3,092,381
無形固定資産		
借地権	5,999	5,999
ソフトウェア	8,312	11,928
その他	24,829	23,999
無形固定資産合計	39,141	41,927
投資その他の資産		
投資有価証券	7,504	7,504
関係会社株式	55,171	55,171
出資金	166	116
前払年金費用	247,150	278,784
その他	91,306	89,500
投資その他の資産合計	401,297	431,076
固定資産合計	3,552,720	3,565,384
資産合計	5,748,899	5,772,807

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	285,226	298,380
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	145,392	145,392
リース債務	59,524	63,405
未払金	123,090	86,307
未払費用	104,300	105,925
未払法人税等	43,828	8,829
未払消費税等	62,187	27,385
前受金	58,517	37,563
預り金	6,472	6,504
賞与引当金	36,000	47,000
ポイント引当金	14,449	—
契約負債	—	9,960
その他	4,723	302
流動負債合計	2,193,713	2,086,957
固定負債		
長期借入金	1,101,944	956,552
リース債務	200,196	234,252
繰延税金負債	9,774	13,911
資産除去債務	23,736	28,886
その他	628	700
固定負債合計	1,336,279	1,234,302
負債合計	3,529,993	3,321,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,935,735	100,000
資本剰余金		
資本準備金	999,531	999,531
その他資本剰余金	1,276,335	2,230,650
資本剰余金合計	2,275,866	3,230,181
利益剰余金		
利益準備金	115,004	115,004
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△996,424	117,688
利益剰余金合計	△881,419	232,692
自己株式	△1,111,275	△1,111,327
株主資本合計	2,218,906	2,451,547
純資産合計	2,218,906	2,451,547
負債純資産合計	5,748,899	5,772,807

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	6,827,475	6,857,589
売上原価	4,097,903	4,146,185
売上総利益	2,729,572	2,711,404
販売費及び一般管理費	2,515,342	2,474,764
営業利益	214,229	236,640
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,624	20,026
受取手数料	34,375	20,941
その他	3,340	4,323
営業外収益合計	50,341	45,292
営業外費用		
支払利息	19,284	16,328
株式交付費	41,589	—
支払手数料	7,451	8,203
その他	2,768	608
営業外費用合計	71,093	25,140
経常利益	193,477	256,791
特別利益		
固定資産売却益	3,819	1,057
特別利益合計	3,819	1,057
特別損失		
減損損失	17,975	—
固定資産売却損	10,007	—
ゴルフ会員権評価損	17,547	—
特別損失合計	45,530	—
税引前当期純利益	151,766	257,849
法人税、住民税及び事業税	28,371	21,020
法人税等調整額	△63,359	4,136
法人税等合計	△34,988	25,156
当期純利益	186,755	232,692

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余 金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	1,148,010	211,806	1,276,335	1,488,141	115,004	△1,183,179	△1,068,174
当期変動額							
新株の発行	787,725	787,725		787,725			
当期純利益						186,755	186,755
自己株式の取得							
当期変動額合計	787,725	787,725	-	787,725	-	186,755	186,755
当期末残高	1,935,735	999,531	1,276,335	2,275,866	115,004	△996,424	△881,419

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△1,111,231	456,745	456,745
当期変動額			
新株の発行		1,575,450	1,575,450
当期純利益		186,755	186,755
自己株式の取得	△44	△44	△44
当期変動額合計	△44	1,762,160	1,762,160
当期末残高	△1,111,275	2,218,906	2,218,906

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余 金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	1,935,735	999,531	1,276,335	2,275,866	115,004	△996,424	△881,419
当期変動額							
減資	△1,835,735		1,835,735	1,835,735			—
欠損填補			△881,419	△881,419		881,419	881,419
当期純利益						232,692	232,692
自己株式の取得							
当期変動額合計	△1,835,735		954,315	954,315		1,114,112	1,114,112
当期末残高	100,000	999,531	2,230,650	3,230,181	115,004	117,688	232,692

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△1,111,275	2,218,906	2,218,906
当期変動額			
減資		—	—
欠損填補		—	—
当期純利益		232,692	232,692
自己株式の取得	△52	△52	△52
当期変動額合計	△52	232,640	232,640
当期末残高	△1,111,327	2,451,547	2,451,547